

西小は おおきな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 5 月 10 日 (水) No.7

発行人

今朝、ヒョウが降ったのにはびっくりした川崎先生。私は晴れ男なんだけど・・・

## ◇ある日の朝◇

あやめホールを通りかかると、何かブザーの音が聞こえる。なんだろう？と思って、音のする方向へ進むと、どうやら 6 年生教室だ??? 6 年生はさっき校外学習へ全員出かけたので誰もいないはず。中に入ってみると、机の上で防犯ブザーが鳴り響いていた。???。まあ、こういうこともあるさ。だけど止め方がわからない。手でしっかりと握りしめて、職員室で誰かに聞こうと階段を下ったところで音が止まった。ふう。一体なんだったんだろう? そっと元の机の上に戻して、帰り際にとりよりの 4 年生教室に入ってみる。

「ゴールデンウィークは何と言う休日か知っている人?」。河西 t の問いかけに、ずっと大勢の手が拳がる。この手の上げ方がいい。ぴんとまっすぐ手が伸びている。休日の名前なんかあまり知らないのかな? と思っていたけど、何のなんの 4 年生はみんな良く知っていた。しかし驚いたことがある。この 4 年生、座る姿勢がいい。背筋が伸びていて、とってもきれいに座っている。その上、ぴんと拳がる手、授業前後のあいさつ、言葉遣い、どれをとっても感心する。良いものを見た心地よさに教室を後にする川崎でした。

## ◇ある日の休み時間◇

中休みに校庭でボール投げをする 2 年生の女の子 2 人。へえ～、女の子がキャッチボールってなんか珍しい。でもまたこの 2 人が上手なんだな、これが。しっかり振りかぶって遠投している。近くで見ていた杉山 t が感心していた。

昼休みに 3 年生の女の子に「校長先生竹馬しよう」と誘われた。竹馬なんて何十年ぶり? うーんと、小学校の頃に乗っただけなので、だいたい 45 年ぶりぐらい。でも意外に乗れるもんだね。小さいころに覚えたことは忘れないということかな。その当時は裏山から竹を切ってきてなたで半分に割り、足場を針金で巻いて、すべて自作したんだよなあ～。今思えば、子どもの頃ってノコギリや金づち使って、船を作ったり、そりを作ったり、いろいろ自作して遊んだこと思い出した。だから生傷も絶えなかった。左手の人差し指には、“なた” で切った傷が今でも残っている。(痛かったんだよお～。当時上市にあった遠山医院にかかったもん)

## ◇ありがたい・ありがたい◇

本当にありがたいことって、実は普段の生活の中に普通にある。例えば、毎日ご飯を作ってくれるお母さん(あるいはお父さん、またはおばあちゃん、おじいちゃん)って、とってもありがたいけど、毎日の事なので慣れてしまっているかもしれない。

毎朝みんなの登校を見守ってくれている見守り隊のみなさん。ありがたい。交代で自主的に見守ってくれるお父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃん、ありがたい。毎朝玄関前を掃き掃除してくれている沢登 t、ありがたい。敷地内を一巡して異常がないかい見てくれる教頭先生、ありがたい。毎日たくさんの具合の悪い子どもたちをやさしく見てくれる川口 t、ありがたい。いつも集会の司会をしてくれて、いろんなことに気を配ってくれる時田 t、ありがたい。二人で漫才のようなやりとりをして場を和ませてくれる藤田 t と藤巻 t、ありがたい(^\_-)。みんなみんなありがたい、ありがたい。<m(\_)\_m>